

- 問1 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
 2. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
 3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
 4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
- 問2 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
1. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。
 2. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。
 3. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。
 4. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。
- 問3 北海道の地形的特徴について述べた文として、正しいものを次の記述から選びなさい。（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 襟裳岬から北へ向かって飛騨山脈が延びており、道内最高峰の山々が連なっている。
 2. 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。
 3. 十勝平野の西端には赤石山脈が位置し、冬の季節風を遮る役割を果たしている。
 4. 石狩低地帯の西側には奥羽山脈が連なり、大規模な稲作地帯を形成している。
- 問4 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流水について、近年の地域社会における役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 流水の移動を妨げないように、沿岸部では一切の漁港建設が禁止されている。
 2. 大規模な稲作を行うための水資源として、春先の用水路に直接引き込まれている。
 3. 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。
 4. 地熱発電のエネルギー源として利用され、周辺地域の電力をすべてまかなっている。
- 問5 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 乾燥帯
 2. 温帯
 3. 冷帯（亜寒帯）
 4. 熱帯
- 問6 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。
 2. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。
 3. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。
 4. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。
- 問7 北海道では、小麦や小豆などの畑作物の生産割合が全国の過半数を超える圧倒的なシェアを占めています。このような高い生産力を支えている北海道の農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 消費地に近い利点を活かし、ピニールハウスなどの施設を用いて出荷時期を早める促成栽培が行われている点
 2. 山がちな地形を活かした段々畑が整備され、果樹栽培と稲作を組み合わせた複合経営が行われている点
 3. 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点
 4. 夏でも温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を作る二期作が行われている点
- 問8 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。
 2. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。
 3. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。
 4. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。
- 問9 北海道を訪れる外国人観光客の動向について、国・地域別の割合では台湾・韓国・中国が全体の60%以上を占めています。これらの国々が含まれる地域名称と、来道者の約90%が利用している交通手段の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 東アジア / 鉄道（新幹線）
 2. 東アジア / 航空機
 3. 東南アジア / 航空機
 4. 北米 / 船舶
- 問10 1890年代後半から現代にかけての石狩川流域における土地利用の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 市街地を拡大させるため、もともと存在した森林をすべて取り除き、大規模な泥炭地へと造り替えた
 2. 泥炭地と呼ばれる湿地は、地盤沈下を防ぐ目的から、明治時代と同じ面積が現在も維持されている
 3. 明治時代には流域の大部分を占めていた湿地が、開発とともに減少し、農地や市街地へと変化した
 4. かつて広大だった農地が、自然保護の観点から国主導で大規模な湿地へと復元された
- 問11 北海道の気候的特色を活かした産業と、それに伴う人口の動きについて述べた文として、正しいものを選んでください。（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 冬の降雪と夏の涼しい気候が観光資源となり、季節によって外国人人口の割合が大きく変動する要因となっている。
 2. 冬の降雪が少ないため、一年中安定して工場を稼働させることができ、工業に従事する外国人人口が年間を通して安定している。
 3. 年間を通して温暖で湿潤な気候であるため、特定の時期に労働者が増減することなく、外国人人口は常に一定である。
 4. 梅雨の影響を強く受ける夏の気候を利用した稲作が盛んであり、その収穫期である秋にのみ外国人人口が急増する。
- 問12 ある都道府県の産業別就業者割合を確認すると、第1次産業が約6%、第2次産業が約17%、第3次産業が約77%となっていた。広大な土地を生かした農業が盛んであるため第1次産業の割合が全国平均より高く、観光業などのサービス業が発達しているため第3次産業の割合も極めて高いこの都道府県はどこか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 静岡県
 2. 千葉県
 3. 大阪府
 4. 北海道